

ランチタイム



ぎょうじしょく
行事食

せつぶん

～ 節分 ～



きょう こんだて
今日の献立

- ・いわしの甘辛丼 あまからどん
- ・牛乳 ぎゅうにゅう
- ・れんこんの梅肉あえ ばいにく
- ・けんちん汁 じる

G: 令和8年2月4日(水)



おに そと
鬼は外～
ふく うち
福は内～

せつぶん
節分って
どういう意味?

き せつ わ ひ い み
季節を分ける日という意味

節分 せつぶん

立春 りっしゅん

節分 せつぶん

立夏 りっか

節分 せつぶん

立秋 りっしゅう

節分 せつぶん

立冬 りっとう

むかし しゅんかしゅうとう

昔は春夏秋冬すべての節分の日をお祝いしていましたが、

つき ひ た りっしゅん まえ ぎょうじ

月日が経ち、立春の前のみ行事をするようになったそうです。

まめ

豆まき



いえ なか そと まめ い だいす
家の中から外に豆(炒った大豆)をまくこ
とで、鬼(悪いこと)をはらい、福を呼び込
むという意味があります。

えほうまき た めいじじだい
恵方巻を食べるのは明治時代から
はじ あたら ふうしゅう
始まった新しい風習です。



ひいらぎ

柊 いわし(やいかがし)

おに きら にお あたま
鬼が嫌いな匂いのあるいわしの頭
を、トゲのある 柊 という植物の葉に
さし、玄関に飾ることで、鬼が家に入
ってこないようにする、
という意味があります。

